

◎第45回福井県PTA連合会広報紙コンクール審査講評

第45回福井県PTA連合会広報紙コンクールには、県内全域から50件の応募がありました。いずれも特集記事や写真の使い方、見出しの付け方、レイアウトなど、読者が関心を持って読めるよう、アイデアに富んだ作品がそろいました。ただコロナ禍によって学校、PTA、地域の環境が大きく変わってしまう中で、広報紙作りにも少なからず影響が出たというのが印象でした。

最優秀賞に選ばれた福井市円山小学校の「GOGOえんざん」は、各号を通してインパクトのある見出しやメリハリのある写真、カラフルな色使いなど、読者が読みたくなるようなワクワクするデザインが目を引きました。特集も充実しており、PTAに関するアンケートや座談会は、保護者の本音に迫り、読者にPTAの意義やあり方を考えさせる興味深い内容でした。ネットゲームをテーマとした特集では、チェックリストや教育講演会の記事を掲載しながら、依存の怖さや利用時の注意点を分かりやすく伝えていました。

応募作品全体を通して、催しや取材なども制限される中、発行回数を減らして1回の内容を充実させたり、コロナ下ならではの特集やコーナーを設けたりするなど、それぞれが工夫して発行していることが伝わってきました。まだまだコロナの収束は見通せずご苦勞も多いと思いますが、こういう困難な時期だからこそ、学校と家庭、地域をつなぐ大切なツールとしての役割はより高まっていると思います。関係者の皆様のご努力に敬意を表して講評とさせていただきます。

審査委員長 福井新聞社整理部部長 小島 茂生